別紙１

水道地図作成要領

Ⅰ　印刷物の構成

（１）　目次

（２）　総括図

（３）　基本図

（４）　付図

Ⅱ　作成要領

（１）印刷物の表紙

図１のとおりとすること

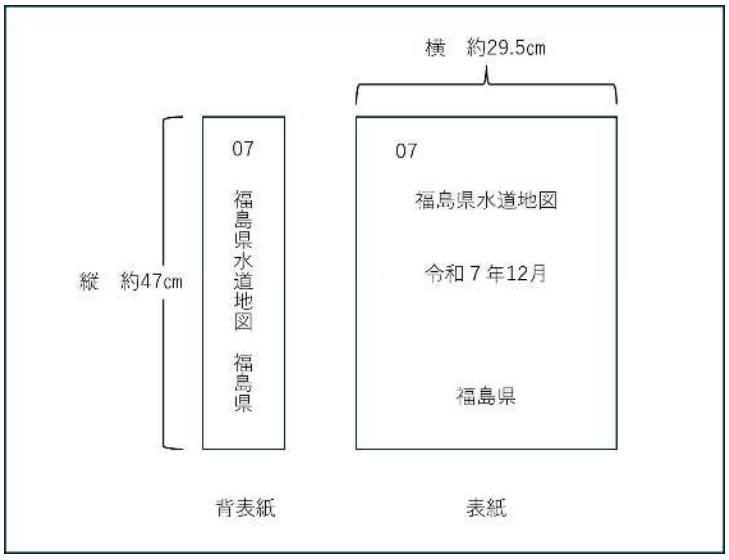


図１

（２）印刷物の目次

ア　記入内容

（ア）都道府県全体図

市町村名が入った全体図に格子を切り、図面番号及び福島県水道ビジョン２０２０で定める７圏域・２地域を記入する。

（イ）索引（様式自由）

市町村名から地図番号を導くものとする。

（ウ）凡例

別添１を参照し作成する。

（エ）水道用水供給事業一覧表、上水道事業一覧表、簡易水道事業一覧表、専用水道一覧表

別添２を参照し作成する。

イ　注意事項

市町村名から容易に都道府県内における位置及び基本図を見出すことができるよう工夫すること。

（３）基本図・総括図

図面は、より広域的な視点を深めるため、２０万分の１の総括図及び５万分の１の

基本図（別添３参照）の二段構成とする。

ア　使用図面

（ア）国土交通省国土地理院発行の２０万分の１の地勢図（総括図）及び５万分の１の地形図（基本図）とし、サイズを柾版（縦４７㎝×横５８㎝）とすること。

（イ）地勢図や地形図を薄くして表示する等、水道施設の位置等が明確に分かるようにすること。

（ウ）総括図１枚につき基本図１６枚を基本単位とする。ただし、基本図は県土及び水道施設の全部を包含できる最低枚数とすること。

イ　出典の記載

国土地理院地図を使用したページには右下に出典を記載すること。

記載例：地理院タイルに水道施設、給水区域を追記して掲載

ウ　頁及び図面番号

（ア）以下の表のとおり頁及び図面番号を付すこと。

区分	番号	付番方法	記載例
頁番号	１～	表紙及び背表紙を除いて通し番号を付す。	１，２，３・・・
総括図番号	１～	総括図ごとに１から順に付す。	（総括図番号）―（基本図番号） 例：１－１、２－８、３－１３、
基本図番号	１～１６	国土地理院５万分の１地形図の図葉番号末尾の番号を付す。（※）	

（※）基本図番号は、国土地理院 5 万分の 1 地形図の図葉番号末尾の番号を用いるものとする。

（例）NJ-54-1　→ 基本図番号 1
NJ-54-8　→ 基本図番号 8
NJ-54-13 → 基本図番号 13
NJ-55-16 → 基本図番号 16

（イ）専用水道一覧表に記載する図面番号は、当該施設が掲載されている総括図番号及び基本図番号を組み合わせた番号を用いること。（例：１－１、２－８等）

（４）総括図及び基本図の記入内容（太字下線部の項目は総括図においては記入しない）

ア　各境界・区域界

境界は、原図をなるべく損なわないように細線にて記入する。区域内外を着色する場合には、数ミリ幅にとどめ、ハッチング（色塗り）は行わない。

（ア）行政区域　・・・・・・茶色
（イ）上水道給水区域　・・・・・・青色
（ウ）簡易水道給水区域（公営）　・・・・・・緑色
（エ）簡易水道給水区域（非公営）・・・・・・焦茶色
（オ）専用水道の位置　・・・・・・黄色（〇印で番号を付す）

イ　名称

（ア）市町村名

市町村名は赤細線で囲む。

（イ）水道名

水道名（Ａ上水道事業、Ｂ簡易水道事業、Ｃ水道用水供給事業、Ｄ専用水道等）を図中に記入する。

ウ　水道施設

（ア）水源

取水地点に橙色で〇印を付し、当該水道の種別を略号で記入する。
略号は以下の６種類とする。
開・・・開発水
自・・・河川自流
伏・・・伏流水
浅・・・浅井戸
深・・・深井戸
湧・・・湧水

（イ）導水管及び浄水場

導水管（黒細線）、●印及び浄水場の名称及び水位を記入し、図枠外に、施設能力、令和７年度日最大給水量を記入する。

（ウ）送水管及び配水池

送水管（黒点線）、■印及び配水池の名称及び水位（HWL、LWL）を記入し、図枠外に、配水池容量、令和７年度日最大配水量を記入する。

（エ）水道用水供給事業

（ア）及び（イ）以外に、送水管（黒二重細線）、受水地点（□印）を記入する。

（５）基本図、総括図（水道用水供給事業）

印刷された水道用水供給事業の一般平面図等を裏表紙にポケットを設け添付すること。なお、ポケットには図面目録を付すこと。

Ⅲ　製本及び装丁

（１）製本・サイズ

見開きで、縦４７ｃｍ×横約５９ｃｍ（閉じた場合、縦約４７ｃｍ×横約２９．５ｃｍ）となるように製本すること。

（２）表紙の材質

ダイヤボードとすること。

（３）順番

ア　巻頭には目次を設けること。

イ　図面は図面番号順に配置すること。

ウ　総括図にはインデックスを付け、総括図の間に基本図を挿入すること。

エ　図面間の上下左右の連続関係が容易に分かるように、図面の上下左右に連続する図面の番号を入れるとともに右下の索引図にも同様に図面番号を入れること。

別添１

凡例表

行政区域		茶色
上水道給水区域		青色
簡易水道給水区域（公営）		緑色
簡易水道給水区域（非公営）		焦茶色
専用水道の位置		番号　黄色
水源		橙色
水源の種別	開発水	開
	河川自流	自
	伏流水	伏
	浅井戸	浅
	深井戸	深
	湧水	湧
浄水場		●黒色
導水管（路）		―――――― 黒色
送水管（路）（用水供給事業）		═══════ 黒色
送水管（路）（用水供給事業以外）		- - - - - - - - - - - - - - - 黒色
配水池		■黒色
配水池（受水地点）		□白色（黒枠）

別添２

水道用水供給事業一覧表

○○用水供給事業		
構成団体	給水人口 （R7年度）	１日最大給水量 （R7年度）
	給水人口 （計画値）	１日最大給水量 （計画値）
A市		
B市		
C町		
D村		

■■用水供給事業		
構成団体	給水人口 （R7年度）	１日最大給水量 （R7年度）
	給水人口 （計画値）	１日最大給水量 （計画値）
E市		
F町		
G町		

・

・

・

・

別添２

上水道事業一覧表

市町村名等	給水人口 （R7年度）	１日最大給水量 （R7年度）
	給水人口 （計画値）	１日最大給水量 （計画値）
Ａ市		
B市		
C市		
D町		
E村		
F町		
G水道企業団		

・
・
・

別添２

簡易水道事業一覧表

市町村名等	給水人口 （R7年度）	１日最大給水量 （R7年度）
	給水人口 （計画値）	１日最大給水量 （計画値）
Ａ市		
B町		
C町		
D村		
E組合		
F町		
G村		

・
・
・

別添２

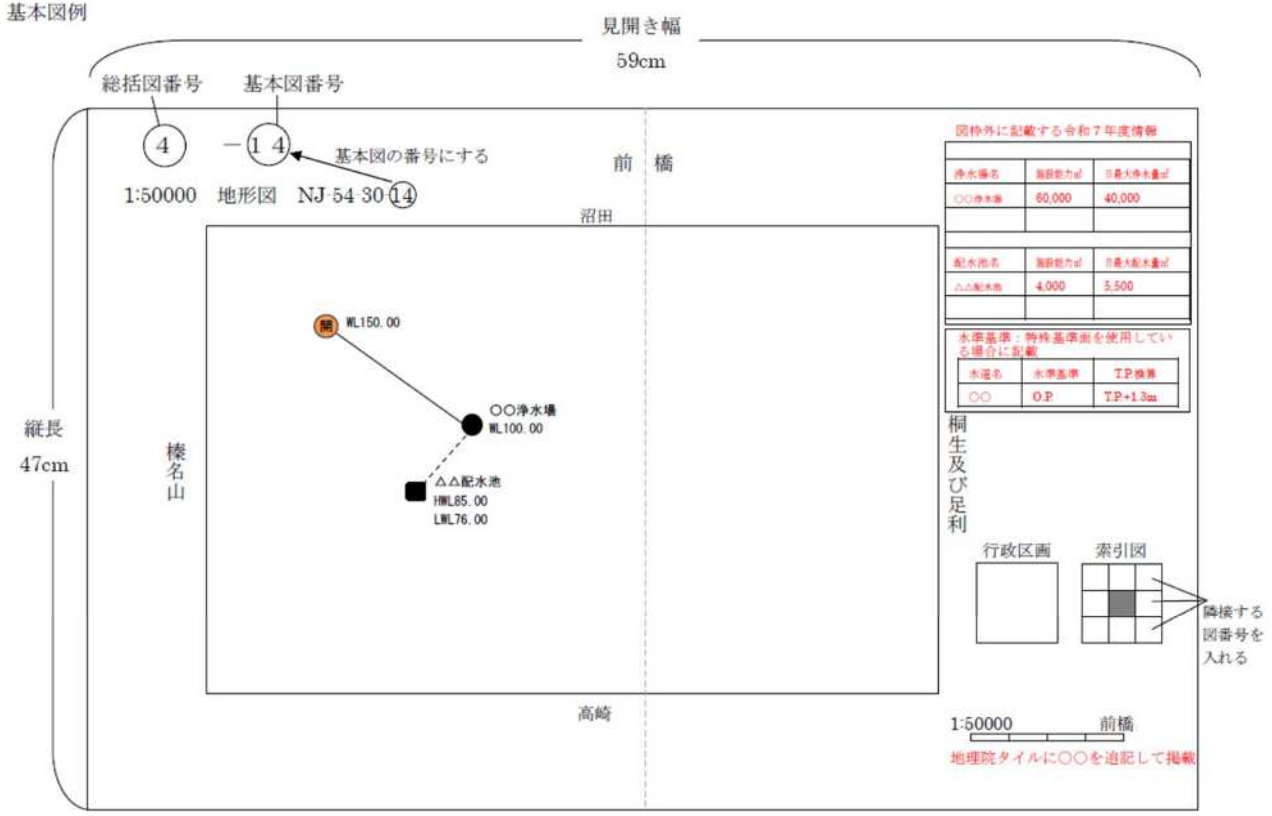
専用水道一覧表

市町村名	図面番号	図中No.	施設名	原水の種別
○○市	○－○○	1	○○病院	自己水源
		2		
		3		
■■町		4		
		5		
		6		

・
・
・

別添３

基本図例


見開き幅
59cm
総括図番号
基本図番号
4
－14
基本図の番号にする
1:50000　地形図　NJ-54-30-14
前　橋
沼田
縦長
47cm
榛名山
WL150.00
○○浄水場
WL100.00
△△配水池
HWL85.00
LWL76.00
桐生及び足利
高崎
図枠外に記載する令和７年度情報
浄水場名　施設能力㎥　日最大浄水量㎥
○○浄水場　60,000　40,000
配水池名　施設能力㎥　日最大配水量㎥
△△配水池　4,000　5,500
水準基準：特殊基準面を使用している場合に記載
水道名　水準基準　T.P換算
○○　O.P　T.P+1.3m
行政区画
索引図
隣接する図番号を入れる
1:50000　前橋
地理院タイルに○○を追記して掲載